

なんでも解説
おのを
深読み



神戸電鉄粟生線の存続のために⑤

存続に向け岐路に立つ活性化協議会

利用者は前年比16万人減の656万人

減少傾向とまらず

前月号で紹介した粟生線活性化協議会や沿線住民による利用促進を図るための取り組みがある一方で、少子高齢化などの影響で粟生線の利用者数の減少傾向に歯止めがかかっていません。昨年度の粟生線の利用者は、656万人（前年比16万人減）にとどまっています。

活性化協議会のあり方

これらの厳しい現実から、粟生線を維持存続させるためには、現在の活性化に向けた取り組みだけでなく、経営面からも議論する必要性が高まっています。

4月28日にあった粟生線活性化協議会では、協議会の今後のあり方についても協議。利用者数の減少を踏まえ、「現在の利用促進施策の抜本的な見直しが必要」「現在の活性化事業を議論する場とは別に、広域行政を担う兵庫県が中心となって、粟生線



夕方、田園風景の中を走る新開地行き神戸電鉄（池尻町）

を経営面から検討できる場の設置を望む」などといった意見が交わされました。

▼問い合わせ先 交通政策グループ（☎631404）

補助金を活用してイベントを開催しませんか

粟生線の利用促進を図る目的で実施するイベントなどのPRチラシ・ポスターの制作費などの内、上限10万円までを補助します。

※運営スタッフの人件費、配布する景品代などは含まれません。

神戸電鉄粟生線活性化協議会
[事務局]三木市交通政策課
(☎82-2000)